

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成29年度第3回入間市高齢者福祉審議会
開 催 日 時	平成29年6月28日(水) 午後1時30分 開会・午後3時00分 閉会
開 催 場 所	市役所5階 第4委員会室
議 長 氏 名	春名 恭一
出席委員(者)氏名	春名 恭一、法師 八郎、澤田 壽一、坂本 嘉久、澤田 茂 田中 孝彦、松本 めぐみ、石黒 督悦、森本 剛、川名 千鶴子 原田 隆司、大島 光恵、森 政江
欠席委員(者)氏名	大坂 隆俊、松下 庄一
説明者の職氏名	高齢者支援課 主幹(高齢者支援担当) 岩田 孝弘
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 新委員への委嘱 3 会長あいさつ 4 議題 (1) 入間市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の 策定について ①計画の総論について ②その他 5 その他 6 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	資料1 入間市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の 策定について
事務局職員職氏名	福祉部長 宮岡 実、福祉部次長 田代 高久 高齢者支援課長 宇津木 教芳、主幹(高齢者支援担当) 岩田 孝弘 主任 神山 晴義 健康推進部長 晝間 昭彦、健康推進部次長 田代 清治 介護保険課長 町田 利男、主幹(地域支援担当) 下村 佳司 主幹(介護保険担当) 粕谷 郁恵
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過)

○ 議 題

(1) 入間市高齢者保健福祉計画・第 7 期介護保険事業計画の策定について

①計画の総論について

②その他

質疑応答

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
宇津木課長	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>ただいまより平成29年度第3回入間市高齢者福祉審議会を開催いたします。会に先立ちまして、委嘱状の交付をいたします。委員を推薦していただいております、入間市の老人クラブ連合会の役員改選がございました。これに伴い、吉川勇様をご解任され、新たに澤田茂様が当審議会委員に推薦されましたので、福祉部長より委嘱状を交付させていただきます。</p>
福祉部長	<p>(委嘱状の交付)</p>
宇津木課長	<p>それでは新しく委員になりました澤田(茂)様よりご挨拶をお願いします。</p>
澤田(茂)委員	<p>(あいさつ)</p>
宇津木課長	<p>ありがとうございました。本日、会の進行状況によりましては、澤田(茂)委員は途中退席されるとのことですのでご了承願います。それでは、開催に先立ちまして、春名会長よりご挨拶をお願いします。</p>
春名会長	<p>(あいさつ)</p>
宇津木課長	<p>ありがとうございました。会議の進行につきましては、高齢者福祉審議会条例第8条の規定で会長が会議の議長となる旨が規定されておりますので、春名会長に議長として今後の会議の進行をお願いいたします。</p>
春名会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。委員の皆様方のご協力を</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>法師副会長</p>	<p>いただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>本日の出席委員は、13 人です。松下委員、大坂委員より欠席との連絡がありましたので報告いたします。</p> <p>よって条例第 8 条第 2 項の規定に基づき、会議は成立いたします。</p> <p>また、会議の傍聴については、ホームページ等で周知したところ、1 名のご希望者がございましたのでご報告いたします。</p> <p>次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。今回は、森本委員、宜しくお願いいたします。</p> <p>本日議論いただく内容は 2 点でございます。1 点目として「計画の総論について」、2 点目として「その他」となります。順次、事務局から説明をいただき、ご意見をいただくかたちで進めて行きたいと思えます。また、議題のご説明をさせていただく前に、本日の新聞に載っておりました記事について、法師副会長より紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>今行われている都議会選挙では高齢者や認知症問題にあまり触れられていませんが、都内では認知症による行方不明者が急激に増えているとのことです。このような認知症による行方不明者を減らす仕組みとして、昨年入間市では「爪Qシール」を採用し、40 名ほどの方がつけています。しかし、「爪Qシール」のおかげで見つかったとしても、家族が届け出を出していなければ、身元不明のままになってしまいます。ですから、身元不明者を減らすためには、行政、家族、地域、警察が一体になることが大事である、という記事でした。入間市の仕組みとして紹介されていたので、ご報告させていただきました。</p>
<p>春名会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、「計画の総論について」の審議を進めたいと思えます。法師副会長より第 2 回策定部会の報告をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
法師副会長	第2回策定部会の報告
春名会長	ありがとうございました。それでは、事務局より説明をお願いします。
岩田主幹	「計画の総論について」説明
春名会長	ありがとうございました。それでは「計画の総論について」へご質問等あれば挙手をお願いいたします。無いようでしたら、私から質問いたします。P4（資料1）「平成30年度 主な改正点」で、「介護医療院」という言葉がありますが、今の時点で分かる情報があれば教えて頂きたいと思います。
岩田主幹	今後創設される新しい施設、サービスということで「介護医療院」とさせて頂いております。詳しい情報等がわかりましたら、ご紹介と資料の提出をさせていただきたいと考えております。
粕谷主幹	「介護医療院」につきましては、平成30年度からの改正法の中で、これまでの療養型病床の廃止が決まっておりますが、なかなか廃止しきれないのが現状です。これに代わる新しい在宅以外の施設でのサービス、医療が必要となってきますので、これまでの療養型病床からの移行となると思います。
澤田(壽)委員	補足として、医師会からの情報ですが、介護病棟の廃止がなかなか進まないこともあり、区切りを切って、平成29年度には介護病棟を廃止し、平成30年度からは「介護医療院」に全て転換させるとのことです。老人保健施設のワンランク上の施設とのことでした。

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	<p>それでは、もう一つ質問させていただきます。P 6（資料1）「市民意見の反映」の「市民説明会の開催」の形式として、市からの説明の後、例えば懇談会の様に出席された方皆さんの意見を聴く、またはワークショップとして5、6人程度で市民の意見を吸収するなど、今の時点でお考えになっていることはありますか。</p>
岩田主幹	<p>前は、平成27年度の法改正がありましたので、主にその説明とともに進めさせていただきました。今回につきましては、まだ形式等は決めておりません。委員の皆様の意見を参考にしながら、説明会の内容を検討させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
春名会長	<p>市民説明会に参加される方々の意見等を持ち帰るのではなく、吸収していただきたいと思います。</p> <p>他にご意見、ご質問等あればお願いいたします。</p>
原田委員	<p>前回の説明会に参加しましたが、市民からの意見はほぼ出なかったのが実情でした。パブリックコメントについては事務局も把握していると思いますが、提案として、町内会や自治会組織等に一旦ブレイクダウンして意見を徴収するなど、自治会組織をうまく活用しながら高齢者、医療、介護を含めた諸々の関係組織に活動展開を測れば良いと思います。</p> <p>自治会組織、関係団体、必要であれば審議会委員を含めた事務局が個別に伺う等、市民説明会以外でも意見を徴収し、フィードバックするというのも良いのではと考えます。今までの経験から申し上げて、データは大きければ大きいほど、その中から出てくるものもありますし、短い期間の中で凝縮していかなければならないことから、このような活動が必要になるのではないかと考えます。いずれにしろ、市民意見の反映はこれからの活動の中で最も大切なものであると思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	<p>ありがとうございます。やればやるほど労力がかかるので作るのは大変かと思いますが、現在柱組されている目標等、入れたい部分はあらかじめ織り込みながら、将来的に新しい形で計画を作る取り組みをやっていただけたらと思います。例えば以前、所沢市では総合計画で「100 人委員会」をつくっていました。そのようなイメージで、将来的に可能であれば、高齢者福祉計画でやってみてはいかがでしょうか。</p> <p>他にご意見、ご質問等あれば挙手をお願いいたします。</p>
川名委員	<p>P 6（資料1）「（2）計画実現に向けた関係部局等との連携」について、前の計画よりも一歩引いているように感じています。前の計画には「必要に応じてプロジェクトチームを編成します」という一文がありました。先日、他の関係部局の会議に出席した際に、担当者が、高齢者のアンケートがある事をご存じではなく、大きなアンケートを取る場合の庁内での連携が出来ていないと感じました。市民の意見を聴くことも、もちろん非常に大切なことですが、庁内で色々な情報を共有することが必要だと思います。特に高齢者福祉の関係では、直接命にかかわる事も多々ありますので、各課で行われているアンケートや計画についてお互いに勉強し合い、庁内における情報交換等含めて、より一層の努力をしてほしいと思います。「計画実現に向けた関係部局等との連携」につきましてはご検討いただき、具体的な事案を挙げて、取り組んでいただきたいと思います。</p>
春名会長	<p>計画策定の中で何か取り組みはされていますか。</p>
岩田主幹	<p>プロジェクトチームはありませんが、それぞれの担当職員で情報交換はしています。計画の素案ができたなら、一般の方へのパブリックコメントの前に庁内にデータをまわし、それぞれの課の計画と齟齬がないか調</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	<p>整をしております。</p> <p>【澤田（茂）委員退席】</p> <p>他にご意見、ご質問等ありますでしょうか。</p>
大島委員	<p>P 2（資料1）「基本目標2」の「住み慣れた地域」を、「住み慣れた地域や住まい」としてはどうでしょうか。また、「自分らしく最後まで」の「最後」という言葉について、死をイメージしてしまい、少し優しさが欠けている印象があります。もう少し柔らかく表現できないでしょうか。</p>
川名委員	<p>以前にも一度その様な意見が出ましたが、「最後」というのは一番大切なもので、「最後」まで自分らしく生きるということは、趣旨からいうと非常に重要な言葉であり、敢えて残す事にしました。</p>
大島委員	<p>もうひとつ、P 3（資料1）の表について、市民意見やパブリックコメントが反映されている事が分かるように、表に盛り込むと良いと思います。スペースは少ないかもしれませんが、市民の皆さんの意見を反映し、尊重されているとの表現があると良いのではないのでしょうか。</p>
春名会長	<p>委員の皆さんの意見があれば、お願いいたします。</p>
澤田(壽)委員	<p>私はずっと看取りをやっています。最後まで自宅で看取りができるようにと、「最後」という言葉を、普通に何の抵抗もなく使っています。人間はいずれにしても死を迎えます。ですから、死ぬことを前提に考えなくてはいけません。「最後」まで地域に居て、自宅に居られるということは素晴らしい事なので、「最後」という言葉には抵抗はありません。</p>

発 言 者	発 言 内 容
大島委員	<p>ん。患者さんも自ら「最後まで家に居たい」と、「最後」という言葉を使います。</p> <p>受け取り方は色々ですが、現場の声を聞いて納得しました。</p>
春名会長	<p>「最後まで」との表現でよろしいでしょうか。それでは、他に意見はありますか。P 3（資料1）「（2）他の計画との関係」の表の中に、パブリックコメントを反映しているとの表記をしてはどうかのご意見がありました。いかがでしょうか。</p>
岩田主幹	<p>こちらにつきましては、「他の計画との関係」の表となっているため、パブリックコメント等は次のページ、もしくはP 6（資料1）の「6 計画策定までの流れ」の中で表記させていただければと思います。</p>
大島委員	<p>表を見た時に、パッと目で理解できると良いのではと思いました。</p>
原田委員	<p>P 3（資料1）の図中の太い矢印に、白抜きで「市民の声」と入れてはどうでしょうか。</p>
岩田主幹	<p>やはりP 3（資料1）の表につきましては、「他の計画との関係」となっておりますので、P 6（資料1）の「6 計画策定までの流れ」の中で、図で視覚的に分かりやすく加えることを、検討させていただくという事でよろしいでしょうか。</p>
春名会長	<p>みなさん、いかがでしょうか。（異議なし）</p> <p>それでは、他にご意見、ご質問等ありますでしょうか。</p>
田中委員	<p>P 4（資料1）の「平成18年度 予防重視型システムへの転換」の一</p>

発 言 者	発 言 内 容
宇津木課長	<p>番目、「日常生活権益」は「日常生活圏域」でよろしいでしょうか。</p> <p>ご指摘の通りです。</p>
春名会長	<p>他に何かありますでしょうか。無いようでしたら、まだ差し替え等が入っていない部分もありますが、第2章について何かご意見はありますか。</p>
森委員	<p>P 8（資料1）の「（3）高齢者世帯員の推移」について質問します。高齢者のみで構成される世帯数が12,053世帯と書かれていますが、これは割合でいうとどのくらいになるのでしょうか。「（2）高齢者の人口の指数」のようにパーセンテージで表示していただくと良いと思います。</p>
春名会長	<p>事務局よろしいでしょうか。割合で表示をお願いします。</p> <p>他に何かありますか。</p>
森委員	<p>P 18（資料1）の「日常生活圏の現状と推計」の「認定率」とは、高齢者人口の中でどれくらいの方が認定されているかという事でしょうか。</p>
粕谷主幹	<p>「認定率」は、65歳以上の人口に対する要支援、要介護認定者の割合となっています。</p>
森委員	<p>65歳未満で要支援、要介護認定を受けている方は含まれますか。</p>
粕谷主幹	<p>65歳未満で要支援、要介護認定を受けている方は「特定疾患」となっており、認定率の計算には含まれません。</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	P20（資料1）の「5 平成 37 年度の推計と第7期の目標」について、「（2）課題の抽出」はありますが、「目標」については入れるのでしょうか。
岩田主幹	おっしゃる通りです。「目標」についての表記を再度検討させていただきます。
春名会長	他に何かありますか。よろしければ、次の議題「その他」について、事務局より連絡事項等がありましたらお願いいたします。
岩田主幹	今後のスケジュールについて説明
春名会長	審議終了のあいさつ
宇津木課長	次第の5「その他」について、何か委員の皆さまからお知らせ等がありますでしょうか。なければ、「老人クラブ連合会」の研修企画についてご説明いたします。
岩田主幹	「老人クラブ連合会」の研修企画についての説明。
宇津木課長	閉会のあいさつを法師副会長よりお願いいたします。
法師副会長	（閉会のあいさつ） 大変お疲れさまでした。
	～平成29年度第3回高齢者福祉審議会 終了～ (以上)

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成29年7月11日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____